

---

# スマッシュ(?)ブラザーズw

戯言遣いの弟子

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

スマッシュ(?)ブラザーズw

### 【Nコード】

N2467K

### 【作者名】

戲言遣いの弟子

### 【あらすじ】

スマッシュブラザーズの皆で遊ぼう！

息抜き程度に詠んで下さいな。

## 前 一回戦

「皆〜!」

「どうしたのさ、兄ちゃん」

「ぽよ〜?」

「何だ?」

「どうかしました?」

「我輩に何か用か?」

「俺に何か用か?」

以下略

「皆で遊ばない?」

「…は?」

「はい!鬼ごっこがいい!」

「かくれんぼ!」

「読書」

「遊びじゃねえしw」

「ゲームなんてどうだ?」「あ、マスターハンド」

「そんな幼稚な遊びは」

「知っているか?ゲームは知識の象徴だぞ」

「やるぞ」

「早いな。ああ、そうそう。今のは嘘だ。」

「おい貴様」

「おら」

「っう!」

「これでいいか?」

「悪いな弟」

「…殴るなよ」

「そら」  
「？ 何だこれ… って、『大乱闘X』じゃん（汗）」  
「全クリしておいた」  
「おう。兄貴と一緒に。… おかげで目の下に隈ができたぜ」  
「……」

「じゃあ先ずは『大乱闘モード』で」  
「ああ、そうそう。自分は使っなよ」  
「… え？」  
「だってつまらんだろう。自分を使えば簡単だろうし」  
「… 確かに」  
「俺がレフェリーを勤める。じゃあ… マリオファミリーで大乱闘！」  
「OK」  
「はい」  
「はい」  
「我輩もか」

## 前 一回戦（後書き）

マリオ

ヨッシー

ルイージ

フォックス

ピーチ

ゼルダ

クッパ

ガノンドロフ

を使います。

場所は終点です！

## 中 一回戦（前書き）

追記

ストック

1

ステージ

スマ村

アイテム は言いました？

食べ物、スマッシュボール、アシストフィギュア。

確率 すくない

以上…かな？

## 中 一 回 戦

「~~~~~!」

「はあああああ!」

「.....」

「...フォックス対ゼルダ...反射しまくりだな」

「おうち!」

「せえい!」

「あ」

「ガチャ連失敗」

「デインの炎!」

「痛!?!」

「言い忘れていたが、キャラのダメージは本人に引き継がれる。」

「「「「な!?!」」」」

「「最初はグー、ジャンケンぽん!」」

「こちらの二人は飽きてジャンケンしてる...」

「ぬお!?!」

「戯弟子だ」

「知らねえよ!」

「作者だ」

「知らね ええ!?!」

「そうか。知らないか。ならば消えろ」

「え!?!ちよつ、待 ああああああ...」

「弟よ、どこへ行く!?!」

「体が勝手にいいい...」

「次回になるかな...」

## 中一回戦（後書き）

戦闘不能

ルイージ

クレイジーハンド（？）

## 終 一回戦（前書き）

やっと終わる…。

## 終 一回戦

「デインの炎！」

「ふっ！」

「はああああ！」

「っぐ！」

「ぬははははは！マリオめ！油断したな！」

「卵産み……」

「おう！？…ふ、だがこんな物、レバガチャで」

「そら！」

「お…？」

「卵産み……」

「お…！」

「そらあ！」

「お…！？」

「卵産み…！」

「ぎややややややあああああああ！」

「マリオがキレた」

「デインの炎。」

「あああああああ……………」

「ピーチが勝利」

「グッダグダ……」

「…作者…さつきはよくも」

「えい」

「あああああああ……………」

## 終 一回戦（後書き）

てな訳で、

優勝

ピーチ

準優勝

マリオ

準準優勝

クッパ

準準準優勝

ルイージ

優勝者と準優勝者からコメント

「私殆ど出番無い…」

「気にしないで下さい」

クッパとルイージ、もう出番無いし（汗）

「…ごふぁ…！」

## 閑話休題（？）

1

作者「次はちゃんとやれよ」（汗）

ピーチ「グダグダだった死ね…」（汗）

作者「ピーチ。字が違うw。」

ピーチ「あらw」

作者「…次から一位の人（その他含む？）をここに入れてみようw」  
二位以下「ちよつと待て！」

作者「みゃ！？」

二位以下「俺達の出番は！？」

作者&ピーチ「んな物ないw。」

マリオ「ピーチ姫、キャラ崩壊…」（汗）

ピーチ「あらあww？」

作者「…次に進むか。…次は、リンクファミリー（？）で」

リンク「あ、はい。わかり」

作者「な訳ねーだろターコ！次はマスターハンドとクレイジーハンドだよー！この二人（？）の為に特別コントローラ作つといたぜ！  
クレイジーハンド（以下クレハン）「やっと…出られた…。ぐふつ。」

マスターハンド（以下マスハン）「大丈夫か！？弟よ！」

クレハン「タブー千体とか有り得ねえ…」

作者「は？ 簡単だろ。レベルは『ふつつ』だし」

マスハン「…所で、特別コントローラとは？」

作者「よくぞ聞いてくれた！えー、『まず、親指で移動。人差指で弱攻撃。中指で強攻撃。薬指でガード。小指で掴みだ』。解ったか？」

マスハン「敢えてその紙には触れないでおこう…」

作者「じゃあ、やるぞ」

## 閑話休題(?) 1(後書き)

今回はマスハン対クレハンです。

場所

フラットゾーン2

キャラ

マスハン

カービィ

クレハン

ピカチュウ

ルール

ふつとび率

2・0倍

ハンデ有り

二人共三百%ゝ

五分

アイテム

ボム兵

バンパー

ハンマー

おい

ですかね？

∴ 中々オススメですw

下手すると50ぐらい死んだりしますよ？

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2467k/>

---

スマッシュ(?)ブラザーズw

2010年11月15日08時43分発行